

広島大学

令和4年度一般選抜(後期日程)・
外国人留学生選抜C日程3月実施

出題の意図

科目名:小論文

歯学部 歯学科

解答の公表に当たって、一義的な解答が示せない記述式の問題等については、「出題の意図又は複数の若しくは標準的な解答例等」を公表することとしています。

また、記述式の問題以外の問題についても、標準的な解答例として正答の一つを示している場合があります。

令和4年度入学者選抜

広島大学一般選抜後期日程 試験問題

歯学部歯学科

小論文

出題の意図

問1

本問題は医療の本質について、受験生の考えを問うものである。今後、歯科医療に携わっていくうえで、専門的、かつ先駆的な医療技術を追求することは不可欠である。それに加えて、医療資源を提供する側の立場(医療従事者等)と提供してもらう立場(患者等)、および両者の関係性から、医療に求められているものは何か、そして、どのような形で医療を提供すべきか、といった医療技術そのものでは解決されない医療現場の問題について考えることが重要である。

医療は限りのある資源であり、その適正な配分のためには、医療倫理の原則である正義論に基づき、どのような基準を採用すべきかを考慮する必要がある。しかしながら、近年では人々の価値観の多様化、グローバル化した社会において、配分的正義は一貫した正義論では解決することが困難となっている。すなわち、資源の配分については個々の意思決定が社会的正義に混在することから、配分機会の社会的平等性、人々が納得できる公平性、配分を拒否する権利、分配基準に対する不服訴えの機会の提供等、解決すべき様々な問題に直面している。

そこで本問題では、主観的、および客観的な見方、さらには、理想とされる医療従事者像の立場、および患者の立場から、医療資源の適正な配分について論理的に分析し、記述してもらうことを意図している。また、医療従事者となる前に医療倫理を熟考し、それを心に留めさせることは、今後、本学で歯科医学を学ぶうえで重要であると同時に、医療人としての人間性を持ち合わせているかの評価にもつながる。

受験生の解答には様々な記述が予想されるが、論理的な思考力、展開力、独創的視点、建設的意見、そして問題解決能力を評価する。また、歯科医療に携わる者としての責任感、人間性が読み取れる内容を期待する。

令和4年度入学者選抜

広島大学一般選抜後期日程 試験問題

歯学部歯学科

小論文

出題の意図

問2

本問題は、これまでに受験生が自分の五感で直接に体感したのものや、学ぶことによって接し知り得たものの中で、「自然の中で美しく感じるもの」と「人の手によって創造されたものの中で美しく感じるもの」を記述させるものである。「自然の中で美しく感じるもの」の中には、美しい生き物やその営み、雄大な自然、身近な自然やそれらの営み、宇宙やその営み、自然の中での物理現象、ミクロの物質の中に見つけられるもの等、受験生個人によって、様々なものが挙げられることが考えられる。また「人の手によって創造されたものの中で美しく感じるもの」には、各種の芸術、建造物、革新的発明品、利便性のある日用品、科学的創造物、自然には元来存在せず新しく開発された医薬品等、多様なものが選択されると予測される。

「自然の中で美しく感じるもの」と「人の手によって創造されたものの中で美しく感じるもの」をそれぞれ挙げた後に、両者の美しさの特徴や理由として考えられることについて記述を行う。選択された2つは対局に位置するものもあるであろうし、「人の手によって創造されたものの中で美しく感じるもの」の中には、自然の中の美しさから導き出され創造されたものや、自然の営みの理解から創造や開発に至ったものも存在するであろう。

本問題では「自然の中で美しく感じるもの」と「人の手によって創造されたものの中で美しく感じるもの」の共通点や相違点といった多角的ならびに分析的抽出を交えながら、2つの美しさの特徴や理由を記述してもらおう。

解答は受験生によって様々な方向に展開されることが予測されるが、解答の中で、受験生の建設的・論理的な思考力、創造的・独創的視点、将来医療人となるための豊かな人間性が読み取れる内容を期待する。